【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年10月31日(2024.10.31)

【公開番号】特開2022-84729(P2022-84729A)
【公開日】令和4年6月7日(2022.6.7)
【年通号数】公開公報(特許)2022-101
【出願番号】特願2022-36198(P2022-36198)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｌ 59/135(2006.01)
Ｆ１６Ｌ 3/14(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｌ 59/135
Ｆ１６Ｌ 3/14 Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月23日(2024.10.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
長尺体を吊下支持する長尺体支持具の支持部と前記長尺体との間に介装される支持補助部材であって、
前記長尺体の長手方向に沿って延在する支持プレートを備え、
前記支持プレートは、幅方向の少なくとも一方側に、前記支持部の前記長手方向の長さに応じた間隔で少なくとも幅方向に沿って延びる部位を有するようにその側縁から形成された一対のスリットをそれぞれ有し、
幅方向の少なくとも一方側で、前記支持プレートにおける一対の前記スリットよりも前記長手方向の外側にある部分の内縁により、前記長手方向の両側から前記支持部に対して係合可能となっている支持補助部材。
【請求項２】
前記支持プレートの側縁の位置での一対の前記スリットどうしの間隔が、前記支持部の前記長手方向の長さよりも短い請求項１に記載の支持補助部材。
【請求項３】
一対の前記スリットのうちの一方に対して前記長手方向に隣接して、前記支持プレートから突出する突起部が設けられている請求項１又は２に記載の支持補助部材。
【請求項４】
前記支持プレートは、一対の前記スリットどうしの間に位置する中央部位と、一対の前記スリットよりも前記長手方向の外側に位置する一対の外側部位と、を有し、
前記長尺体支持具に取り付けられた状態で、前記中央部位の曲率に比べて一対の前記外側部位の曲率が小さい請求項１から３のいずれか一項に記載の支持補助部材。
【請求項５】
長尺体を吊下支持する長尺体支持具と、
請求項１から４のいずれか一項に記載の支持補助部材と、
を備える長尺体支持ユニット。